

## みずほCustomer Desk Report 2022/12/16号(As of 2022/12/15)

## 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示仲値	135.50
TKY 9:00AM	135.35	1.0676	144.63	1.2419	0.6857		
SYD-NY High	138.18	1.0737	146.65	1.2428	0.6870		
SYD-NY Low	135.24	1.0593	144.37	1.2158	0.6677		
NY 5:00 PM	137.76	1.0631	146.43	1.2181	0.6700		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)		
NY DOW	33,202.22	▲ 764.13	日本2年債	▲0.0200%	0.0000%		
NASDAQ	10,810.53	▲ 360.36	日本10年債	0.2500%	0.0000%		
S&P	3,895.75	▲ 99.57	米国2年債	4.2383%	0.0247%		
日経平均	28,051.70	▲ 104.51	米国5年債	3.6204%	0.0059%		
TOPIX	1,973.90	▲ 3.52	米国10年債	3.4491%	▲0.0283%		
シカゴ日経先物	27,630.00	▲ 295.00	独10年債	2.0885%	0.1535%		
ロンドンFT	7,426.17	▲ 69.76	英10年債	3.2365%	▲0.0725%		
DAX	13,986.23	▲ 473.97	豪10年債	3.4640%	0.1080%		
ハンセン指数	19,368.59	▲ 304.86	USDJPY 1M Vol	10.36%	0.05%		
上海総合	3,168.65	▲ 7.88	USDJPY 3M Vol	10.48%	0.15%		
NY金	1,787.80	▲ 30.90	USDJPY 6M Vol	10.24%	0.25%		
WTI	76.11	▲ 1.17	USDJPY 1M 25RR	▲0.73%	Yen Call Over		
CRB指数	274.72	▲ 1.91	EURJPY 3M Vol	9.95%	0.26%		
ドルインデックス	104.56	0.79	EURJPY 6M Vol	10.00%	0.22%		

東京	東京時間のドル円は135.35レベルでオープン。仲値にかけては五・十日の実需により売り買いが交錯。一巡後は前日のFOMCが効派と捉えられた流れを受け、ドルは底堅い展開。じりじりと上昇すると135.88をつけたが、136円を上抜けるほどの勢いはなく、135.65レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、135.65レベルでオープン。昨日の米FOMCを受けたアジア時間の流れを引き継ぎドル買いが進む。一時136.93まで上昇し136.57レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2395レベルでオープン。ドル買いに押され下落。正午に英中銀が0.50%利上げし政策金利を3.50%とするも予想通りの結果にポンドの下げは止まらず。一時1.2285まで下落し1.2311レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は136.57レベルでNYオープン。朝方はECB理事会を受けて強まった対ユーロのドル売りがドル円にも波及し136.18まで下落。しかし、ECBやSNBなど複数の中銀が利上げ発表し、日本の政策金利水準との差分が再度意識される中、堅調に推移していたクロス円にサポートされたほか、米株の軟調推移がリスクオフのドル買いを誘い、137円台半ばまで上昇。水準切り上げ後もじりじりと上昇し、午後には11月30日以来の水準となる138.18をタッチ。午後は137.70近辺まで反落。結局、137.76レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.0623レベルでNYオープン。朝方のECB理事会の発表では予想通り50bpsの利上げ幅だったが、声明文では今後も安定したペースで大幅利上げを行う姿勢を示したほか、インフレ見通しを前回から上方修正しており、タカ派色の強い内容を受けて1.06レベル半ばまで上昇。カガルドECB総裁の記者会見では「一定期間の50bp利上げ継続を見込むべき」との発言で効派姿勢を強調する中、ユーロ買いがさらに加速し、一時的に約半年ぶりの水準となる1.0737をつけた。しかし、その後はリスクオフのドル買いが台頭し、1.0580近辺まで反落。終盤は買戻し優勢で1.0631レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上野・松木

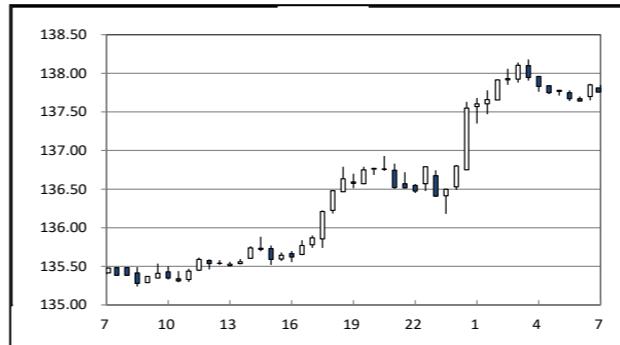
## 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月15日	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	11月 2.2%	3.5%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	11月 -5.9%	-4.0%
	21:00	英 BOE政策金利	15-Dec 3.50%	3.50%
	22:15	欧 ECB主要政策金利	15-Dec 2.5%	2.5%
	22:15	欧 ECB預金ファシリティ・レート	15-Dec 2.0%	2.0%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	12月 -11.2	-1.0
	22:30	米 小売売上高(月比)	11月 -0.6%	-0.2%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/月比)	11月 -0.2%	0.2%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	10-Dec 211k	232k
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況	12月 -13.8	-10
	22:45	欧 ラガルドECB総裁発言	「今後複数回にわたり50bp利上げを想定」	
	23:15	米 鉱工業生産(月比)	11月 -0.2%	0.0%

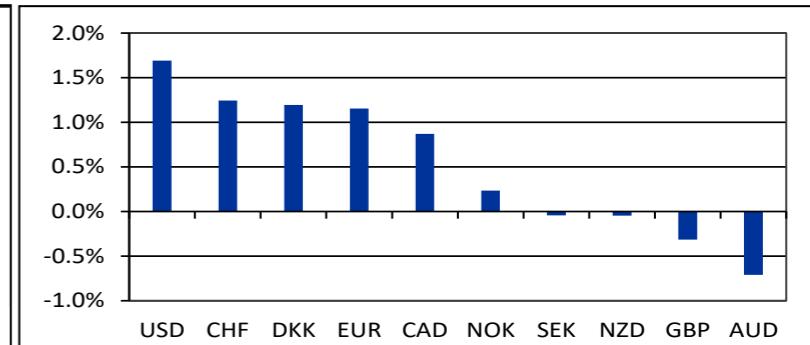
## 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月16日	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料・月比/前年比)	11月 0.3%/-5.8%	0.3%/-6.7%
	18:00	欧 製造業PMI・サービス業PMI(速報)	12月 47.1/48.5	47.1/48.5
	19:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	11月 10%/-0.1%	10%/-0.1%
	19:00	欧 コアCPI・確報	11月 5.0%	5.0%
	23:45	米 製造業PMI・サービス業PMI(速報)	12月 47.8/46.5	47.7/46.2

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.50-138.20	1.0550-1.0750	145.00-147.50

## 【マーケット・インプレッション】

昨日は海外時間に138円台まで上昇する展開。序盤は前日のFOMCを受けたドル買い地合いから堅調な推移。海外時間に入り、序盤はECB理事会を受けたユーロ買い(ドル売り)の動きにドル円が軟化する場面も見られたが、クロス円の堅調推移に加え、米株が軟調になるなどリスクオフからドル買いが強まるところドル円は138.18まで上昇。その後は小反落し137円台後半でクローズ。本日のドル円は底堅い展開を予想する。FOMC、ECB、SNB(スイス中銀)と今週の主要中銀イベントは概ね消化。年内では日銀金融政策決定会合を20日に控えているが、イベントの狭間となる本日については前日ほどの値幅を伴った動きにはなりづらい。リスクとしては昨日は米株が3指数ともに大きく下落している点。リスクオフ地合いが優勢な中でドル買いが優勢になる展開には注意を払いたい。